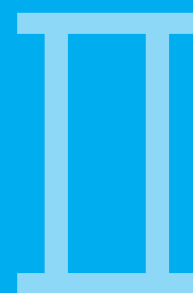


労働条件の
確保・改善
のための
フローチャート

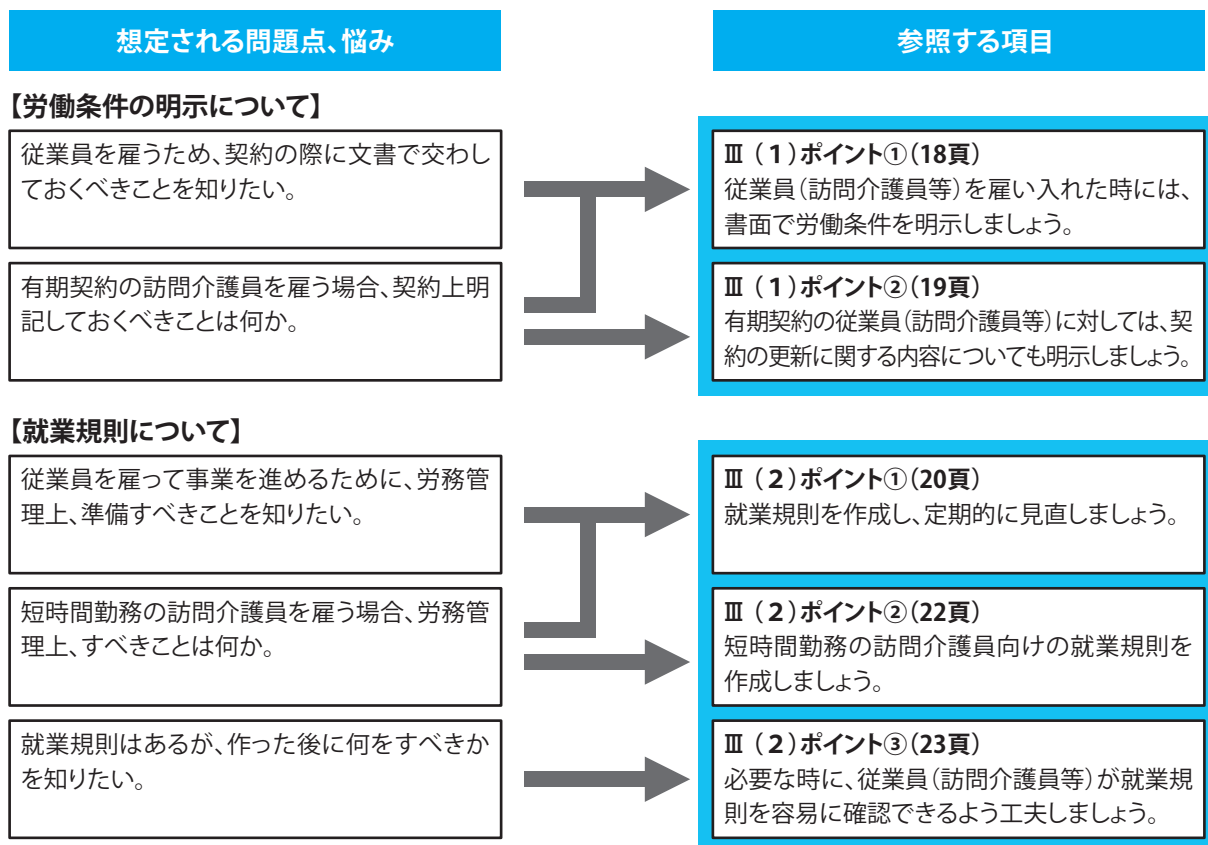


労働条件の確保・改善のためのフローチャート

訪問介護事業に携わる事業者および現場の管理者であるサービス提供責任者は、介護従事者、とりわけ訪問介護員の労働条件の確保・改善に向けて、様々な課題や疑問・悩み等を抱えていることでしょう。

ここでは、労働条件や人材育成等について、しばしば挙げられる課題、悩みを30項目ほど取り上げ、各々について、本書のどこを読むと参考になるかを簡潔にまとめました。利用の際には、自社の課題、悩み等にあてはまる、もしくは類似する「想定される問題点、悩み」を探し、それに対応した「参照する項目」を読んでください。また、「想定される問題点、悩み」は、30項目のうち、いくつかが自社にも当てはまるか、というようにチェック項目として、利用することも可能です。

なお本書で解説する項目は、事業者・サービス提供責任者として活躍するすべての方が押さえるべきポイントとなりますが、各ページの右上には、特にその項目を読んでほしい方をアイコンで示しています。



想定される問題点、悩み		参照する項目
【労働時間について】		
何が労働時間に含まれるのか。		Ⅲ（３）ポイント①(24頁) 労働時間の範囲について、事業者と訪問介護員の両方で確認しましょう。
労働時間の適切な把握方法がわからない。		Ⅲ（３）ポイント②(25頁) 働いた時間を適正に把握しましょう。
移動時間や待機時間の正しい捉え方を知りたい。		Ⅲ（３）ポイント③(26頁) 労働時間に含まれる移動時間・待機時間等を適正に把握しましょう。
時間外労働や休日労働が必要な時にはどうすべきか。		Ⅲ（３）ポイント④(27頁) 時間外労働や休日労働を行わせる場合は、労使協定(36協定)を結び、労働基準監督署長に届け出ましょう。
【休憩及び休日について】		
休憩の適切な取り方(取らせ方)を知りたい。		Ⅲ（４）ポイント①(29頁) 休憩は確実に取得できるようにしましょう。
休日の適切な取り方(取らせ方)を知りたい。		Ⅲ（４）ポイント②(30頁) 毎週少なくとも1日の法定休日を確保しましょう。
【賃金等について】		
適切な賃金の算定方法を知りたい。		Ⅲ（５）ポイント①(32頁) 移動時間や業務報告書作成時間等は、労働時間に算入して、賃金を支払いましょう。
時間外や深夜・休日の労働に対する賃金の算定方法を知りたい。		Ⅲ（５）ポイント②(33頁) 時間外・休日・深夜の労働に対して割増賃金を支払いましょう。
賃金の適正な水準がわからない。		Ⅲ（５）ポイント③(34頁) 最低賃金額以上の賃金を支払いましょう。
利用者からキャンセルがあった場合にはどうすべきか。		Ⅲ（５）ポイント④(35頁) 利用者からキャンセルがあった場合、休業手当や代替業務の提供等により賃金を補償しましょう。
賃金の適切な管理方法を知りたい。		Ⅲ（５）ポイント⑤(36頁) 労働者名簿と賃金台帳を作成して保存しましょう。

